

報道発表

2022年10月7日
公益財団法人電気通信普及財団

2022年度助成援助(5月期)を決定

公益財団法人電気通信普及財団(理事長 秋本 芳徳)は、2022年度助成援助(5月期)の公募に対し、応募があった案件について、別紙のとおり援助を決定いたしました。

概要は下記のとおりです。

記

2022年度助成援助(5月期)

1. 特別講義開設援助	4件	3,825千円
2. 長期海外研究援助	2件	7,069千円
3. シンポジウム・セミナー等開催援助	8件	7,500千円
4. 国際交流人材育成援助	3件	3,910千円
5. ネット社会課題対応援助	4件	7,340千円
6. 学術研究出版助成	3件	5,894千円

(参考)

1. 特別講義開設援助
大学又は大学院において、情報通信に関する特別講義(人文学・社会科学分野及び技術分野)を新たに開設するための経費を援助します。
2. 長期海外研究援助
情報通信に関する研究(人文学・社会科学分野及び技術分野)を行う研究者が、海外の大学又は研究機関の招請を受けて、海外で長期間、優れた研究活動を実施するため、その経費の一部を援助します。
3. シンポジウム・セミナー等開催援助
情報化社会の進展や情報通信の普及・振興に資するため、情報通信の研究、普及・振興に関して学術的に寄与する会議等の開催について、開催経費の一部を援助する必要があると認められるものに援助を行います。
4. 国際交流人材育成援助
情報通信分野での我が国と開発途上国との間の国際交流が促進されるような活動(人材育成が促進されるような活動)を援助します。
5. ネット社会課題対応援助
情報社会の進展に伴い生じている情報通信の利用者のリテラシー、スキルの向上や情報通信を活用して社会、地域等の課題対応に貢献するための活動を援助します。
6. 学術研究出版助成
情報通信の発展に寄与するために行う、学術研究の成果を公表するための書籍の出版を助成します。

【連絡先】

公益財団法人電気通信普及財団 事業部 梶山
03-3580-3414
jigyoubu(at)taf.or.jp (at)を@としてください。
<https://www.taf.or.jp/>

1. 2022年度申込 2023年度開講 特別講義開設援助

(金額単位: 千円)

区分	大学名	特別講義名	単位	援助金額
新規	筑波大学	情報システム特別講義 A	1	600
継続 (3年目)	金沢学院大学	「デジタル経済」	2	1,100
継続 (3年目)	東京電機大学	Field Based Learning I、II	4	930
継続 (2年目)	摂南大学	データサイエンス展開	2	1,195
合計				3,825

4件 3,825千円

2. 2022年度申込 長期海外研究援助

(金額単位: 千円)

No.	申込者	年齢	研究テーマ、受入れ機関等 滞在期間	援助 金額
1	東京大学 工学系研究科 機械工学専攻 講師 伊藤 太久磨	37	住宅街環境における自律・通信併用型モビリティの研究 アメリカ ミシガン大学社会基盤工学専攻 Henry Liu教授 2023年1月～2023年9月	3,386
2	九州大学 大学院法学研 究院准教授 成原 慧	39	デジタル時代における仮想世界／現実世界のガバナンス アメリカ合衆国/オーストリア ハーバード大学/ウィーン大学 Woodrow Hartzog・Professor of Law and Computer Science Nikolaus Forgó・Professor of IT and IP Law, Head of the Department of Innovation and Digitalisation in Law 2023年8月～2024年8月	3,683

2件 7,069千円

3. (1)2022年度申込 シンポジウム・セミナー等開催援助 (学術分野)

(金額単位:千円)

申込団体名・申込者	会議、シンポジウム・セミナー等名	援助金額
第35回国際電波科学連合総会(URSI GASS 2023)実行委員会 委員長 小林一哉	第35回国際電波科学連合総会	1000
IFAC World Congress 2023 実行委員会 実行委員長 井村順一	IFAC World Congress 2023, Yokohama, JAPAN	1000
VRST2022実行委員会 実行委員長 小池崇文	28th ACM Symposium on Virtual Reality Software and Technology (VRST 2022)	1000
電気学会センサ・マイクロマシン部門 第39回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム実行委員会 実行委員長 磯部良彦	第39回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	1000
APMC 2022実行委員会 古神 義則・実行委員長 古神義則	2022年 アジア・パシフィックマイクロ波会議 (APMC 2022)	1000
第22回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議組織委員会 組織委員長 小西聡	第22回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議	1000
第52回国際騒音制御工学会議組織委員会 東京大学生産技術研究所・教授 坂本慎一	第52回国際騒音制御工学会議(Inter-Noise 2023)	1000
国際会議ISITA2022実行委員会 ISITA2022 General Co-Chair 古賀弘樹	2022 International Symposium on Information Theory (ISITA2022)	500

8件 7,500千円

3.(2) 2022年度申込シンポジウム・セミナー等開催援助 (社会貢献分野)

該当無し

4. 2022年度申込 国際交流人材育成援助

(金額単位:千円)

区分	申込者	事業名	援助金額
新規	九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医 療開発センター 病院長 中村雅史	インドネシアの地方大学にお ける遠隔医療技術者育成プロ グラム	1,810
継続	鹿児島高専 校長 氷室昭三	マレーシア工科大学及び鹿児 島高専におけるIoT・AI(機械学 習)トレーニング	1,100
継続	岡山大学 学域長 鶴田健二	ミャンマー・インドネシアにお ける自習ツールを用いた実践的 プログラミング教育 の普及事業	1,000

3件 3,910千円

5. 2022年度申込 ネット社会課題対応援助

(金額単位:千円)

区分	申込者	事業名	援助金額
新規	名古屋大学 大学院人文学研究科 教授 梶原義実	博物館・美術館展示における3Dモデル配 信用Webシステムの開発	2,000
新規	慶應義塾ミュージアム・コモンズ 機構長 松田隆美	デジタル・コモンズを活用した「文化体験 普及のためのリテラシー学習プログラム」 の設計および実践	2,000
新規	国立大学法人 滋賀医科大学 医学部医学科 生命科学講座 (物理学) 准教授 成瀬延康	ICTとハンズオンを併用したSDGs課題解 決能力を有する人材の育成法の開発	1,340
継続	関西大学 教授 松下慶太	情報(ネット)社会における新しい観光振 興モデル(メタ観光)の構築 ～島根県大田市の多層的な観光資源と 情報通信技術活用を事例に	2,000

4件 7,340千円

6. 2022年度申込 学術研究出版助成

(金額単位:千円)

分野	申込者 所属・役職・氏名	単著/ 共著	書名	助成金額
人文学・社会科学分野	早稲田大学 デジタル・ソサエティ研究所 招聘研究員 小津 敦	単著	The Impact of Cloud Computing on the Japanese Macroeconomy	2,000
人文学・社会科学分野	明治大学 政治経済学部・経済学科 専任教授 浅井 澄子	単著	オープンアクセスジャーナルの実 証分析	2,000
人文学・社会科学分野	福山大学 人間文化学部メディア・映像学科 講師 丸山 友美	単著	日本の初期テレビドキュメンタリー 史	1,894

3件 5,894千円